

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
 ご利用いただきたくご案内いたします。  
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を  
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ  
 どよろしくお願い申し上げます。

謹白

### 記

■ 実施日 2020年9月25日(金) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
8475 4	EBウイルスDNA 定量 5F201-1441-019-862 5F201-1441-022-862	血液 (EDTA- 2Na加) 2.0	PN5(C)	冷蔵 (28日)	2~4	310 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	検出せず (Log IU/mL)	<span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">重</span> 裏面 参照
		血漿 2.0	PN5(C) ↓ ARR (r)						

※7：微生物学的検査判断料

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

項目コード	検査項目	受託中止日
6873 1	EBウイルス核酸定量	2021年3月31日(水) ご依頼分をもって受託中止
3900 9	EBウイルス核酸定量(WBC)	



## ● EBウイルスDNA 定量

WHO International Standardで標準化された体外診断用医薬品を用いた検査です。

Epstein-Barr (EB) ウイルスは、成人の90%以上が感染しているウイルスであり、生涯にわたり潜伏感染を続けることが知られています。既感染者はEBウイルス関連抗体が陽性になることや、白血球細胞への潜伏感染から健常人の検体でDNA検査が陽性になることがあるため、抗体検査やDNA定性検査だけでは不十分であり、EBウイルス感染症の診断にはリアルタイムPCR法の定量検査による、EBウイルス感染症のモニタリングと迅速な診断が望まれています。

本項目は、1<sup>st</sup> WHO International Standardで標準化された体外診断用医薬品を用いて、血液および血漿中のEBウイルスDNAをリアルタイム法でDNA定量し報告いたします。

### ▼疾患との関連

EBウイルス感染症  
免疫抑制状態や臓器移植患者における日和見感染症

### ▼関連する主な検査項目

EBウイルスDNA (クロナリティ)

### ▼検査要項

検査項目名	EBウイルスDNA 定量	
項目コードNo.	8475 4	
検体量	血液 (EDTA-2Na加) 2.0mL	血漿 2.0mL
容器	PN5 (C)	PN5 (C) →ARR (r)
保存方法	冷蔵保存してください	
所要日数	2~4 日	
検査方法	PCR (リアルタイムPCR)	
基準値	検出せず (Log IU/mL)	
検査実施料	310点 (「D023」微生物核酸同定・定量検査「8」)	
判断料	150点 (微生物学的検査判断料)	
備考	<b>重</b> 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。	

## ●参考文献

Kimura H, et al : J Clin Microbiol 37 (1) : 132~136, 1999. (検査方法参考文献)  
日本造血細胞移植学会 : 造血細胞移植ガイドライン EB ウイルス関連リンパ増殖症 2018年2月  
日本小児感染症学会 : 慢性活動性 EB ウイルス感染症とその類縁疾患の診療ガイドライン 2016  
(臨床的意義参考文献)